

2024年11月8日  
株式会社エクサウィザーズ  
(コード番号：4259 東証グロース)

## エクサウィザーズ、短時間で DX リテラシーを可視化できる 「DIA Literacy」を開始

～ 約 30 分で DX リテラシー標準の 14 項目を測定、  
全社の対象に応じたリテラシー底上げと DX 推進スキル獲得を可能に～

株式会社エクサウィザーズ（東京都港区、代表取締役社長：春田 真、以下エクサウィザーズ）は、DX 人材発掘・育成サービス「exaBase DX アセスメント&ラーニング」において、従来の半分の約 30 分でアセスメントを実施できる「DIA Literacy」の提供を始めました。経済産業省と情報処理推進機構（IPA）が策定した「デジタルスキル標準」の DX リテラシー標準に特化したものとなります。全社を対象として、DX リテラシーの可視化と底上げに課題を持つ企業での活用を想定しています。



exaBase DX アセスメント&ラーニングの人材アセスメント機能は、「DIA」（Digital Innovator Assesment）として提供しております。このたび、DX リテラシー標準、DX 推進スキル標準を横断的に測定できる「DIA」（旧名称：DIA3.0）、大規模組織において短時間で人材のセグメント分けが可能な「DIA Short」（旧名称：DIA 3.0 Short）に加えて、3 つ目の DIA として、30 分程度で DX リテラシー標準を高精度で測定できる「DIA Literacy」の提供を始めました。

従来サービスの「DIA」では DX リテラシー標準と DX 推進スキル標準を網羅的に測定できますが、1 回当たり約 60 分程度の受検時間が必要でした。このため大規模な組織においては、全体規模での実施を完了するのに一定の期間を要していました。

なお、本件がエクサウィザーズの 2025 年 3 月期業績に与える影響は軽微であります。

各アセスメントサービスの特徴は以下の通りとなります。

	DIA Literacy	DIA	DIA Short
評価対象	DXリテラシーの底上げが必要なセグメント	DXリテラシー獲得済みセグメント	全社員
評価目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>DXリテラシー獲得のための詳細な可視化と育成</li> <li>育成の効果測定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>DX推進スキル獲得のための詳細な可視化とパーソナライズ育成</li> <li>育成の効果測定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全社員からDXリテラシーの獲得状況ごとにセグメントを分類</li> <li>育成対象者のスクリーニング</li> </ul>
評価内容	14項目でスキルを定義 <ul style="list-style-type: none"> <li>DXリテラシー標準 14項目</li> </ul>	35項目でスキルを定義 <ul style="list-style-type: none"> <li>DXリテラシー標準 10項目</li> <li>DX推進スキル標準 25項目</li> </ul>	7項目でスキルを定義 <ul style="list-style-type: none"> <li>DXリテラシー標準 2項目</li> <li>DX推進スキル標準 5項目</li> </ul>
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>時間：30分程度</li> <li>設問方式：IRT(テスト項目に対する反応を見て、受検者の能力や性格などを分析する理論体系)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>時間：60分程度</li> <li>設問方式：IRT(テスト項目に対する反応を見て、受検者の能力や性格などを分析する理論体系)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>時間：15～20分程度</li> <li>設問方式：DIAからピックアップし出題(AIによる採点)</li> </ul>

### ☑14項目のDXリテラシーを短時間で測定

DIA Literacy は、新たな価値を生み出すために必要な意識・姿勢・行動である「マインドスタンス」8項目、DXの背景、DXで適用されるデータ・技術に関する理解・知識、それらの利活用についての「Why・What・How」6項目で、合計14項目を測定できます。以下のような画面で30分程度の短時間で受検が完了します。

<「DIA Literacy」の測定尺度>

#### マインドスタンス

変化への対応、コラボレーション、顧客・ユーザーへの共感、常識にとらわれない発想、反復的なアプローチ、柔軟な意思決定、事実に基づく判断

#### Why・What・How

Why：DXの背景、What：データ、What：デジタル技術、How：活用事例・利用方法、How：留意点

#### <受検画面イメージ>



DIA Literacy 受検完了までの推定所要時間 約 20 分

問題

あなたは、半年後に開催される社内新規事業コンテストに応募するために新しいアイデアについて考えています。新しいアイデアを思い浮かぶために、あなたが毎日起こす行動を選択肢から1つお選びください。

答え

- これまでの自分の経験を振り返り、まとめる
- 多様な知り合いを増やす機会をもつ
- 業界内の知り合いと情報交換する
- 何でも話せる親しい友人との付き合いを増やす

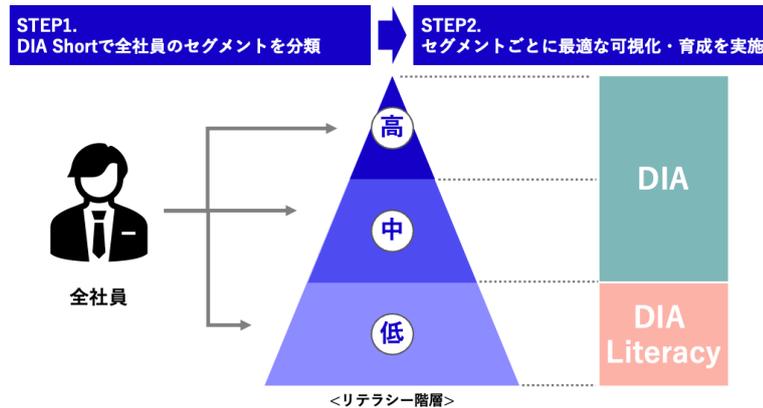
### ☑DIA Short と組み合わせ、より適切な可視化・育成が可能に

大規模な企業や官公庁、自治体においては、まず「DIA Short」で全社員のセグメント分けを実施し、その後、リテラシー階層が高いと判断されたセグメントにはDIA、低いセグメントにはDIA Literacyをそれぞれ実施するという段階を踏むことが可能となります。

DIAは、DXリテラシー標準のみならず、DX推進人材に必要なDX推進スキル標準を測定できます。ただし検定に約60分の時間の確保が必要です。

このため対象のセグメントごとに、アセスメント含めた育成プログラムを分けることで、従業員の負荷を低減しつつ、各セグメントの目的に応じた最適な育成ができます。

## <アセスメントサービス全体像>



### ☑DIA Literacy の提供形態について

- ・ DX リテラシーコース  
アセスメント3回（DIA と DIA Literacy どちらも利用可能）と e ラーニングがセットとなったプログラム
- ・ アセスメントのみのご利用

※金額など詳細はお問い合わせください

### 【ダウンロード資料】

DIA Literacy と DIA のサービス比較、exaBase DX アセスメント&ラーニングを導入する際のポイントなどをご覧ください。

[https://event.exawizards.com/dxp/dia/2024148?utm\\_campaign=pr\\_1108](https://event.exawizards.com/dxp/dia/2024148?utm_campaign=pr_1108)

### ☑exaBase DX アセスメント&ラーニングについて

2019年8月にリリースした exaBase DX アセスメント&ラーニングは、DX 人材育成を支援するプラットフォームとして、大手企業を中心に幅広い業界から支持を集めてきました。オンライン動画学習プラットフォーム「Udemy Business」と連携することで、専門的な学習コンテンツの提供も図っています。

2023年7月には、経済産業省とIPAが策定した「デジタルスキル標準」（DSS）に完全準拠したアセスメント「DIA3.0」の提供を開始するなど、機能やコンテンツの拡充を図ってきました。近年は、特定部門だけでなく全社での受検・利用も増えています。

こうした実践的かつ包括的な取り組みによって、2024年9月末に累計の利用者数が25万ユーザーを超え、利用社数約1900社を達成しました。

詳しくはこちらをご覧ください。 <https://exawizards.com/exabase/assess-learning/training/>

### 【エクサウィザーズ 会社概要】

会社名：株式会社エクサウィザーズ（証券コード4259）

所在地：東京都港区芝浦4丁目2-8 住友不動産三田ファーストビル5階

設立：2016年2月

代表者：代表取締役社長 春田 真

事業内容：AIを活用したサービス開発による産業革新と社会課題の解決

URL：<https://exawizards.com/>

## <広報に関するお問い合わせ先>

株式会社エクサウィザーズ 広報 メール：[publicrelations@exwzd.com](mailto:publicrelations@exwzd.com)